

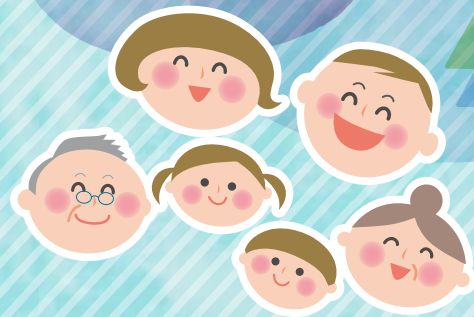
自分の命を守るため

防災情報を活用しよう

特集1

上手に集めて
しっかり対策!

防災に役立つ情報は、令和元年度に全戸配布した『多久市防災ハザードマップ』をはじめ、防災行政無線やスマートフォンアプリなど、さまざまな形で発信されています。大雨などの災害が発生しやすい時期だからこそ、改めてご自身やご家族、地域のみなさんと、情報収集の方法を確認してみましょう。



特集1

多久市防災ハザードマップ

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を表示した地図です。また、区域外でも災害が起こる可能性があるため、周りと比べて低い土地や崖の近くに住んでいる人は、気象情報や市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

必要な人は
防災安全課、市民生活課
窓口で受け取れます

多久市防災
ハザードマップ



防災行政無線

多久市では防災行政無線で緊急情報を放送しています。放送を聞き逃した人も、放送内容を下記の電話番号から確認できます。

自動案内サービス

☎ 0952-75-8558 / ☎ 75-8559



緊急情報メール通知サービス

スマートフォンやパソコンに最新の防災情報をメールで配信! QRコードを読み取って空メールを送信すると、登録手続きができます。

緊急情報メール
通知サービス



ぜひ登録を!



田んぼダム

田んぼの雨水貯留機能を活用し、大雨時に田んぼからの水の流出を抑制するもの。一時的に雨水を溜めることで、排水路などの急激な水位上昇を防ぎます。多久市では14ha実施中。

田んぼにひと工夫!

浸水被害の軽減に取り組んでいます

大雨になりやすい時期は、ダムやクリークの事前放流、田んぼダムの取り組みにより、浸水を防げるよう、農家のみなさんにご協力いただいています。

ダムやクリークの事前放流

大雨前にゲートなどを操作し、ダムやクリークの水位を下げることで、大雨時により多く貯水できるようにします。

<注意!>

市民のみなさんは大雨時には河川・クリークの状況を見に行かないようにしましょう。

